

『時事新報』の原稿を探しています

福澤諭吉は、明治15年に創刊した日刊新聞『時事新報』に多くの文章を書きました。その数は数千本になるともいわれていますが、原稿は散逸してしまい、確認されているものは150点ほどに過ぎません。そこで慶應義塾福澤研究センターでは『時事新報』の原稿を探しています。似た資料をお持ちの方、情報をご存知の方、まずはぜひご一報下さい。



<原稿の特徴>

- ・ 文章は、漢字カタカナ、漢字ひらがなの場合があり、ほとんど無記名です。
- ・ 欄外には (一) (二) といった数字や他の人名の記入、丸印が押されている場合があります。
- ・ 赤や黒の野線（枠）の原稿用巻紙に記されていることが多いですが、線のない真っ白な紙に書かれている場合もあります。
- ・ 書き間違えや修正部分は黒々と塗りつぶされており、また複数の筆跡が混じっている場合もあります。
- ・ 当初の原稿の状態のままである場合のほか、巻物や掛け軸に仕立てられている場合もあります。

(連絡先)

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾福澤研究センター

TEL : 03-5427-1604 FAX : 03-5427-1605 e-mail : fmc@info.keio.ac.jp

※慶應義塾の歴史資料、福澤諭吉や時事新報などに関するその他の歴史資料も、引き続き当センターで収集しております。